

理念・目標・取組

長期的な視点で取組を進めます

水道局の使命は、安全で良質な水をいつまでもお届けすることです。計画的に事業を進めていくため、平成27(2015)年度から令和6(2024)年度までの10年間の取組をまとめた「札幌水道ビジョン」を策定し、事業に取り組んでいます。



水道事業の基本理念と目標



取組のキャッチフレーズ

じっかん
実感できる札幌水道

じゃぐちをひねれば安全で良質な水がいつでも出てくることを感じ、安心・満足していただくことを目指します。

“実感(じっかん)”は次のキーワードの頭文字も表しています。



次の世代にも安定して水をお届けするために、水源の分散配置や水質の保全、施設の更新・改修、災害対策や、それらに対応するための財源や技術力の確保に努めます。



利用者の皆さま、共に水道を支える出資団体や民間企業、教育・研究機関のほか、他水道事業者とのパートナーシップにより、安定した事業運営に努めます。



地形を有効活用した施設づくりなどによって自然エネルギーを活用し、大都市でもトップクラスの環境にやさしい水づくりを行っています。今後も「環境首都・札幌」として、環境負荷の低減に努めます。

じっかん指標

“安全で良質な水を供給し、利用者の視点に立った事業運営を展開していく”ことを利用者の皆さまに実感し、満足していただいているかを確認するため、“じっかん指標”を定めました。

😊 安全で良質な水道水が届いていることの満足度	目標：96%
😊 お客さまサービス(問い合わせ対応・広報)の満足度	目標：85%
😊 「水道水のおいしさを実感する“きき水”」の体験者数	目標：10年間で延べ15万人

重点取組項目と主な取組

札幌水道ビジョンでは5つの重点取組項目を定め、さまざまな取組を進めます。

- 1 水源の分散配置と水質の安全性の向上**
 - 水源の水質保全
 - 豊平川以外の水源確保
- 2 施設の更新・耐震化と危機管理体制の強化**
 - 配水管の更新
 - 耐震化の推進
 - 白川浄水場の改修 ほか
- 3 利用者とのコミュニケーションの充実**
 - きき水体験の実施
 - 小規模貯水槽水道の衛生管理の意識向上 ほか
- 4 経営基盤の強化と連携の推進**
 - 財務基盤の強化と経営の効率化
 - 技術力の確保・向上と国際貢献
 - 広域的な取組や連携の推進
- 5 エネルギーの効率的な活用**
 - 水力発電や太陽光発電の導入
 - 自然流下方式の活用

札幌水道を実感していただくために

利用者の皆さまに安全・安心でおいしい水道水を実感していただく取組を行っています。

きき水体験



水道記念館秋まつり 札幌駅前通地下歩行空間

水道水とミネラルウォーターを飲み比べ、改めて水のおいしさを感じていただく「きき水体験」を実施。多くの皆さまに、参加していただいています。

ミニさっぽろ



水道メーター検針体験 水漏れ修理体験

小学3・4年生を対象とした職業体験イベント「ミニさっぽろ」に出展。子どもたちに水道の仕事を実験しながら水道事業について学んでもらいます。